

らーめん
にんにくや
Instagram: ninnikuyaseki
twitter: ninnikuya_h
応援してるぞー!!

女子陸上競技部

中大スポ
女子陸上
2年ぶり
王者座
奪還
パリ五輪特集
春季リーグ優勝



400mハードルW表彰台!!
七種競技では松下が総合2位、橋本結空(商2)が総合10位で大会を終えた。昨年インカレ準優勝を果たした松下は大会前、けがの影響で思うように練習できない日々が続いたという。しかし七種競技で最初に行われた100mハードルで全体1位の記録をたたき出すと、その後も各競技バランスよく結果を残し着実に得点を奪取。また先輩の大きな背中を追った橋本も800mでは組内で1位、全体では松下に続く3位と上位



松下七種準優勝
に食い込む躍進を見せた。競技後、松下は「目標にしていた1位には手が届きそうに届かなかった」と言葉に悔しさをにじませつつも「全ての競技に全力を尽くすことができた」と手応えを口にした。優勝した貴家(日体大)とはわずか25点差と、優勝までは文字通りあと一步。「誰よりも陸上競技を愛し楽しんで最後のインカレへ勝負を懸ける。」



4継&マイルメンバー
4継準優勝
チーム全員で勝ち取った2位だった。大会2日目に行われた1部4×100mリレー決勝。深澤あまね(法4)、吉永葉月(文2)、久保田真子(文3)、佐藤美里(文3)の4人がバトンをつなぎ、見事準優勝を果たした。2年連続でスタートを任せられた深澤は「1走として必ずトップでバトンを渡す気持ちで挑みました。昨年の関東インカレと比べて、前に食らいつくことができ、成長を感じの良い走りができたとおもいます」と振り返り、最高学年としてチームに勢いを与えた。深澤が「私よりずっと強く頼もしい選手たち」と語るように、続く3人の選手もそれぞれの力を十分に発揮し、アンカーの佐藤は「チーム力がどの学校よりも高かった」と団結力の強さを口にした。45秒台をたたき出し、今大会でスタートペストを大幅に更新した4人。チーム力の高さを武器にして次戦こそ頂点へ。



2年ぶりマイル優勝
王者座奪還
最後の関東インカレ
最強メンバーで挑む

過去4年間の関カレ4×400mリレー

年	1走	2走	3走	4走	記録
2021	高島	松岡	飯田	大島	3:40.40
2022	高島	松岡	大島	飯田	3:39.23
2023	佐藤	吉永	丹澤	松岡	3:50.96
2024	益子	松岡	吉永	飯田	3:39.43

ラーメン二郎
八王子野猿街道店2
アルバイト募集

4継準優勝
チーム全員で勝ち取った2位だった。大会2日目に行われた1部4×100mリレー決勝。深澤あまね(法4)、吉永葉月(文2)、久保田真子(文3)、佐藤美里(文3)の4人がバトンをつなぎ、見事準優勝を果たした。2年連続でスタートを任せられた深澤は「1走として必ずトップでバトンを渡す気持ちで挑みました。昨年の関東インカレと比べて、前に食らいつくことができ、成長を感じの良い走りができたとおもいます」と振り返り、最高学年としてチームに勢いを与えた。深澤が「私よりずっと強く頼もしい選手たち」と語るように、続く3人の選手もそれぞれの力を十分に発揮し、アンカーの佐藤は「チーム力がどの学校よりも高かった」と団結力の強さを口にした。45秒台をたたき出し、今大会でスタートペストを大幅に更新した4人。チーム力の高さを武器にして次戦こそ頂点へ。

Center Position
6月20日に秋田県鹿角市で開催された男鹿駅伝、山道に車を走らせ、同期と後輩と一緒に走る中大の選手を追いかけた。選手を目前に控える自分にとって中大スポ部員として行くことのできる最後の遠征取材だったからかもしれない。仲間と一緒に新しい景色を見ること、選手の間近で見ること、そしてその姿を写真と言葉を通して伝えること、日常の一部としていた中大スポの活動が、私の大学生活を濃く彩っていたことを実感した。▼大学1年生の時の駅伝で、偶然か必然か陸上の吉原兄弟が大きく映った中大スポーツ4月号が目にいった。その瞬間、椅子に座りながら聞いた「学生アシスト」取材をして新聞をつぶしたという言葉。こんなスポーツの関わり方もあるんだと新しい世界を知った気がした。▼入部してからも、取材のために全国各地で走られる大会へ足を運ぶ。最初の頃は、競技を見たというよりは、走りながら「いい走りだね、いい走りだね」という好意の言葉が飛び交っていた。今思えば、選手たちの活躍を応援するという使命感が大きなモチベーションとなっていた。それほど選手とスタッフ陣の競技に向けるまなざしは、かつて、彼の口から語られる言葉は、いかに誠意に溢れていた。▼なんとなんと入部を決めた過去、自分を褒めてあげたい。年に7回発行される新聞の作成期間、私たちが部員としての責任感を持って取り組む。そんな中、目の前の大きなことに追われてつい忘れてしまいがちな、新聞は自分たちの日々の活動、頑張りの集約であること、スポーツに情熱を注ぐ多くの人の存在が、この学生記者の中スポの活動を支えている。▼そんな環境に身を置くこととは、想像していた入学当初よりもはるかに素直で、最後は、日々一生懸命に頑張る中大スポの仲間と尊敬と感謝をおぼえて伝えたい。いつか皆さんの方々に、(松本)きますように。

WEBでも
スポーツ報知
野球もメジャーも
駅伝も芸能も
無料会員登録で特別コンテンツ見放題

学生新聞の広告って
そんなに
効果
無いよね。
いえいえ、あります。
中大スポーツ

chu-spo@hotmail.co.jp
042-674-2802
〈電話受付時間〉平日11~18時
見積もりご相談お任せください